

テーマ「自己の進路を考える」

人は変わることができるのか？

6月15日（木）総探・進路講演会

「進路実現のために今大切なこと、

やるべきこと」を挑め！世界最強の敵、自分に「

感想あれこれ

○家庭学習を習慣化したい

○苦手科目を克服したい

○帰宅したら制服のまま30分机に向かう

○30、1、3の法則

○授業に集中したい

○今の生活スタイルを変えたい

○今のままではいけない

○自分に厳しくなりたい

○受験の時に後悔したくない

など

「今の自分、今の自分の生活習慣、今の自分の取り組み方、今の自分の甘さ」を変えたいという思いを抱いていることがわかります。

人は変わることができる！

思いが強ければ今の自分を変えることは可能です。ただし、すぐに変えることはできません。コツと継続していくことが大切です。つまり、今の自分を変えるためには「時間」がかかります。その貴重な「時間」はすべての人に平等にあります。高校生活は三年。二年生のみなさんにとつての高校生活はあとどれくらいあるのでしょうか。限りある時間を有効的に使い、「目標達成」に向けて前進してください。

また、みなさんの振り返りシートを見ると、短時間で自己分析し、それを表現してまとめるという作業が的確にできている生徒が多いと感じました。これはひとつの武器になります。欲を言うならば、やや機械的にまとめているだけというのもあります。大切なのは「読み手を意識しながら、自分の意見を自分らしい表現で、わかりやすくまとめて伝える」ということです。

見たことがある

やったことがある問題…

というのは本番の大学入試でもよくあることです。そのときに「あれ、どうやって解くんだったっけ？」はもったいないだけでなく、「あれ、やったはずなのに、解けるはずなのに」と精神的に追い込まれてし

まう場合があります。逆に「よし、やったことがあるから解ける！」という時は勢いが出ます。

「簡単なミス」は命取り

国語・簡単な漢字をミスしない

・簡単な漢字を平仮名で書かない

数学・単純な計算ミスをしない

英語・簡単なスペルミスをしない

普段から適当に取り組んでいると本番でもその癖が出てしまいます。これは部活動でも同じです。「本番に強い人」は普段の取り組み（勉強であれば日々の授業、部活動であれば日々の練習）から本番のように励み、基礎を確実に固めています。

大学入試の問題構成

難問	20%
応用	30%
◎基礎	50%

ポイント

・基礎問題で差がつく



・教科書レベルの問題は
確実に得点する！